

●●●●=必ず記入 ○○○○=計画に応じて該当するところを記入

- 1 当該学年・学期等における探究課題 《 町づくりや地域活性のために取り組んでいる人々や組織 》
- 2 単元名 『子守唄の里について調べよう・音楽祭に参加しよう』 (全35時間=実施時期:5月~12月)
- 3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け(主な素材・活動等)を明確に

地域に伝わる子守唄やその伝承者について調べ、地域を誇りに思う気持ちを育てるとともに、子守唄の里音楽祭に携わる人々の思いを知り、地域のために尽力されている方々に感謝し、自分たちも協力したいと思う気持ちを育てる。

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと(こと)」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		・高屋小学校で歌い継いでいる子守唄について、知っていることを話し合う。	・情報機器やゲストティーチャーを活用して、上野耐之や子守唄の里音楽祭について調べる。	・調べたことを整理し、地域の人々がどのような思いで子守唄を歌い継いでいるのかを考える。	・これからも子守唄を守っていくためにできることを考え、発信する。
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	地域のことをもっと知りたいという思いをもって活動することができる。	○○○○	地域の偉人や地域のために活動する方々を誇りに思うことができる。	郷土を愛し、誇りをもって生活していることとする気持ちを高めることができる。
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>	○○○○	○○○○	○○○○	地域のためにできることについて考え、実行することができる。
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>	○○○○	地域の方をゲストティーチャーとして招き、情報を収集することができる。	○○○○	参観日で保護者の方や地域の方に向けて、調べたことを発信することができる。
仕掛け・工夫	もの	幼い頃から「中国地方の子守唄」に親しんできたことを再確認する。	○○○○	○○○○	○○○○
	ひと	地域にも音楽祭に携わっている人や、上野耐之さんと関係がある人がいることを知る。	上野耐之について調べることで、自分たちの地域に偉大な人物がいたことを誇りに思えるようにする。	子守唄の里音楽祭に携わる方との交流を通して、子守唄を大切にしている地域の方々の思いを知る。	○○○○
	しごと(こと)	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
アウトプットの工夫		子守唄の里音楽祭に参加したり、参観日で保護者に発表したりすることで、地域に伝わる子守唄の素晴らしさを伝える。			

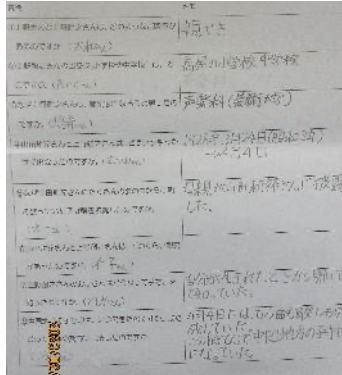
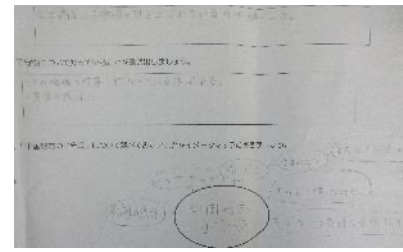
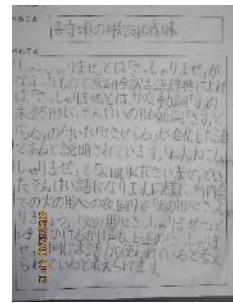
5 他教科・領域、学校行事等との関連

音楽科「日本の音楽に親しもう」、学習発表会

6 他学年、他校(園)種、外部団体との連携・接続・交流

子守唄の里音楽祭実行委員会、上野羊二さん(ゲストティーチャー)

◆単元のねらい「地域に伝わる子守唄やその伝承者について調べ、地域を誇りに思う気持ちを育てるとともに、子守唄の里音楽祭に携わる人々の思いを知り、地域のために尽力されている方々に感謝し、自分たちも協力したいと思う気持ちを育てる。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 今年度は子守唄の里音楽祭が周年記念ということで、市民会館という大きな舞台で発表することができたので、貴重でよい経験になった。
- タブレットを効果的に使うことで、調べ学習だけでなく、情報を共有したり整理したりまとめたりすることができた。
- △インターネットだけの情報では調べられないため、ゲストティーチャーをお招きしたが、コロナ禍ということもあり日程の調整等が難しかった。
- ☆引き続き音楽祭にも参加し、地域にも発信できる活動を続けていきたい。